

各剣道連盟会長 様
居合道部会長 様
杖道部会長 様

一般財団法人北海道剣道連盟
会 長 武 田 牧 雄

称号審査の候補者推薦について

来る 11 月に行なわれる称号審査会にあたり、下記及び別紙要領により候補者推薦を受けます。
関係規則・要項を了知のうえ、手続き等に遺漏のないようお取計らい願います。

(封筒の封印等確認のうえ提出してください。)

特例錬士称号の推薦者に限り北海道剣道連盟までお知らせください。別途推薦書をお送りします。

記

1. 称号推薦 (教士・錬士)

候補者推薦書の提出期限 令和 7 年 8 月 29 日 (金) 必着

2. 推薦員会の審議

候補者推薦書に基づき、推薦の可否を審議する。

3. 称号審査

一般財団法人全日本剣道連盟称号・段位審査規則及び、一般財団法人北海道剣道連盟称号・段級審査規程による。

1. 推薦基準 (受審資格)

(1) 錬士称号推薦者

ア. 六段受有後 1 年を経過し、なお五段受有後 4 回以上全剣連または道剣連主催の指導者講習会を受講し、審判能力を有する者。

イ. 五段受有者 (受有後 10 年以上経過した者) で全剣連審査規則第 10 条第 1 号の付与基準を満たし、五段受有後 4 回以上指導者講習会を受講し、年齢 60 歳以上の者。(特例錬士)

(2) 教士称号推薦者

ア. 七段受有後 2 年を経過し、なお錬士六段受有後 4 回以上全剣連または道剣連主催の指導者講習会を受講し、指導力を有する者。

※ なお、令和 7 年度は全日本剣道連盟の基本方針として、受審資格である講習会受講回数について錬士は六段受有後 1 回以上、教士は錬士七段受有後 2 回以上とする。

②. 審査方法

(1) 錬士称号推薦者

小論文 課題 各要項参照

字数 400 字以上 800 字以内

ア. 手書による自筆（パソコン等不可）

イ. 字数は可能な限り 800 字に近づける。

ウ. 封筒（長 3）の表に剣道錬士受審（居合道・杖道）と書き、裏に登録都道府県名と氏名を表記し封印をする。

エ. 道剣連審査用として小論文のコピーを同時に提出する。

(2) 教士称号推薦者

小論文 課題 各要項参照

字数 800 字以上 1,200 字以内

ア. 手書きによる自筆（パソコン等不可）

イ. 字数は可能な限り 1,200 字に近づける。

ウ. 封筒（長 3）の表に剣道教士受審（居合道・杖道）と書き、裏に登録都道府県名と氏名を表記し封印をする。

エ. 道剣連審査用として小論文のコピーを同時に提出する。

オ. 推薦書には顔写真を貼付する。

※ 提出書類は 2 枚（様式は要項集に附されている申請書等様式集内にあり）

・北海道剣道連盟会長宛様式 1 枚

第 4 号様式 剣道・居合道・杖道 教士・錬士 候補者推薦書

・全日本剣道連盟宛様式 1 枚

全剣連称号・段位様式第 4 号 教士 受審申請書（本人用）

〃 第 5 号 錬士 受審申請書（本人用）

を、それぞれ作成し審査料を添えて申請すること。

（特例錬士の様式は別様式になるので事前に連絡のこと）

※ また、申請書添付の修了証書の写しは、申請剣連事務局で確認し道剣連への写しの送付は不要とする。

4. 審査料

	審査料	申請剣連手数料	道剣連払込額
錬 士	24,200 円	－ 1,500 円	= <u>22,700 円</u>
教 士	36,300 円	－ 1,500 円	= <u>34,800 円</u>

各剣道連盟事務局 様

称号錬士・教士論文提出の際、小論文の体裁、封筒の記載方法、印漏れ等の不備で再提出をされている方がおります。

称号錬士・教士推薦者には、要項を熟読していただき、封筒の記載には下図をご参照いただきますようお願いいたします。

お手数をお掛けいたしますがよろしく願いいたします

